

最上の幸を生かした総合型産業の確立による雇用機会増大促進プロジェクト 新旧対照表

| 変 更 前 | 変 更 後 (__部分を追加または修正する。) |
|--|---|
| <p>1. 地域再生計画の名称 最上の幸を生かした総合型産業の確立による雇用機会増大促進プロジェクト</p> <p>(中略)</p> <p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>(1) 地域再生にむけた方向性 本町が将来にわたって持続可能な地域を形成していくには、人口の減少化に一定の歯止めをかけるとともに、少子高齢社会への的確な対応、地域産業の構造改善といった大きな課題を解決しなければならない。</p> <p>(中略)</p> <p>(2) 現状課題 本町では、平成 16 年 12 月に認定を受けた地域再生計画『最上の宝を生かした 100 万人交流のまち』再生プロジェクトにおいて、本町のシンボルエリアであるウエルネスプラザ(町立最上病院、健康センター、高齢者総合福祉センター、介護老人保健施設、グループホーム等の施設群が集積するエリア)と JR 最上駅を結ぶ区域間の整備を第一の目標に据え、「特定地域プロジェクトチームの設置」や「まちづくり交付金の創設」「民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の柔軟化」等の支援措置を活用し、その具現化にむけた取組みを行っている。</p> <p>(中略)</p> | <p>1. 地域再生計画の名称 <u>100 万人交流を目指した“本物指向のまち”プロジェクト</u></p> <p>(中略)</p> <p>4. 地域再生計画の目標</p> <p><u>～ 交流人口拡大による持続可能な農村社会の形成～</u></p> <p>(1) 地域再生にむけた方向性 本町が将来にわたって持続可能な地域を形成していくには、人口の減少化に一定の歯止めをかけるとともに、少子高齢社会への的確な対応、地域産業の構造改善といった大きな課題を解決しなければならない。</p> <p>(中略)</p> <p><u>(2) 地域再生への取組</u> <u>交流人口 100 万人を数値目標にした「スロータウン」の形成にむけ、本町では上記の主要プロジェクトに加え、以下に掲げる 3 つの課題を柱に据えた地域再生への取組みをとおして、本物志向のまちづくりを目指している。</u> <u>交流人口拡大に向けた基盤整備</u> 本町では、平成 16 年 12 月に認定を受けた地域再生計画『最上の宝を生かした 100 万人交流のまち』再生プロジェクトにおいて、本町のシンボルエリアであるウエルネスプラザ(町立最上病院、健康センター、高齢者総合福祉センター、介護老人保健施設、グループホーム等の施設群が集積するエリア)と JR 最上駅を結ぶ区域間の整備を第一の目標に据え、「特定地域プロジェクトチームの設置」や「まちづくり交付金の創設」「民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の柔軟化」等の支援措置を活用し、その具現化にむけた取組みを行っている。</p> <p>(中略)</p> <p><u>地域固有のさまざまな資源を活用する産業の振興</u></p> <p>(中略)</p> <p>本町が目指す「総合型産業システム」とは、町内で形成された付加価値が町内の事業者等の経済主体に流れ、それが町内で再投資される産業形態であり、農業をはじめとする第 1 次産業だけでなく、加工や販売等における各種活動が他産業との積極的な関わりのなかで本町内において完結しうる体制を確立することである。</p> <p><u>こうした課題の解決にむけ、本町では、平成 17 年 7 月に認定を受けた「最上の幸を生かした総合型産業の確立による雇用機会増大促進プロジェクト」において、生産物販売にむけたマーケティング力、生産活動に係る効率かつ</u></p> |

安定的な労働力供給にむけたマネージメント力、町内循環型流通システムの確立・運用にむけたシスマティック力等の専門性を有する人材の育成・確保にむけた取組みを行っている。

今計画は、平成 17 年 7 月に認定を受けた「最上の幸を生かした総合型産業の確立による雇用機会増大促進プロジェクト」に、文部科学省の支援措置を追加し修正を加えたものです。

精神面における本物志向のまちづくり

交流人口拡大にむけた基盤整備の面で解決しなければならないもう一つの課題が、“誇り高い文化の香るまち”を目指した取組みである。本町のまちづくりの基本戦略である「スロータウン」の具現化には、万事手間ひまをかけて物事に取組むスロー社会の実現が不可欠であり、地域経済の活性化にむけた活動と連動する姿で、精神面における本物指向のまちづくりが求められている。つまりは、精神面と物質面におけるそれぞれの取組みが車の両輪のごとく良好に連動することによって、交流者をひきつける“魅力あるまち”として形成されるものである。

このため本町では、青少年を主体にした“文化芸術による創造のまちづくり”に重点を置き、より高い次元における地域総ぐるみのまちづくりを目指している。

(3) 課題解決にむけた地域再生計画の目標

本町では、“農業を起点にした内発型産業の振興”を「総合型産業システム確立」の基本姿勢に位置づけ、アスパラガスを主体にした園芸作物や特用林産物の生産拡大による産地化形成に全力を注いでいる。その真意とするところは、“スロータウン”の理念に立脚し、『手間隙をおしまない』=『多くの労働力を必要とする農作物の生産』、『本物づくり』=『安全で安心な農産物の生産』であり、本町の交流人口拡大と産業構造体質改善への大きな原動力になり得ると期待するものである。

(中略)

(3) 課題解決にむけた地域再生計画の目標

(目標 1)

「地域提案型雇用創造促進事業(パッケージ事業)」を活用し、総合型産業システムの確立にむけた専門性を有する人材の育成・確保を図り、雇用機会の増大を目指す。その目標数値は、平成 19 年度末における地域内就職者数を 61 人、また、園芸作物の主軸を担うアスパラガスの生産販売額では、平成 17 年度を 3 千万円、18 年度を 1 億 4 千万円、19 年度においては 3 億 5 千万円の目標額を見込む。

(目標 2)

文部科学省の委託事業「文化芸術による創造のまち支援事業」の活用をとおして、青少年を主体にした音楽活動の振興と地域ぐるみで音楽を育むまちづくりを目指す。その目標数値として、最上町総合舞台サポート隊登録数 20 人、最上町文化芸術のまちづくりシンポジウム入場者数 300 人を見込む。

5. 目標を達成するために行う事業

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

総合型産業システムの確立にむけ、本町では大きく以下の3つを柱とした事業展開を計画している。

(1) アスパラガスを主体にした園芸作物の生産拡大

園芸作物の生産拡大にむけて、激しさを増す産地間競争に打ち勝ち、市場等への安定した出荷体制をいち早く確立するために、徹底したマーケティングや販路獲得にむけた取り組みと、これを可能にする人材育成を図る。

(中略)

5-3 その他の事業

5-3-1 地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）

(中略)

(5) 農作業雇用希望者に対する訓練の実施

アスパラガス等の園芸作物の生産に係る「除草」や「収穫」「選別」作業の技術講習会を実施し、雇用希望者の資質の向上を図る。

・実習苗における技術講習会の実施。

(中略)

5-1 全体の概要

交流人口拡大にむけた基盤整備が進むなか、地域固有のさまざまな資源を活用する産業の振興及び精神面における本物志向のまちづくりを進め、物質面と精神面におけるそれぞれの取組みが車の両輪のごとく良好に連動することによって、交流者を惹きつける“魅力あるまち”の形成を目指す事業を行う。

(1) 地域固有のさまざまな資源を活用する産業の振興

総合型産業システムの確立にむけ、本町では大きく以下の3つを柱とした事業展開を計画している。

— アスパラガスを主体にした園芸作物の生産拡大

(中略)

— 食品加工製造業の活性化

(中略)

— 町内循環型経済流通システム・地産地消(消)の確立

(中略)

(2) 精神面における本物志向のまちづくり

「もがみ少年少女合唱団」の活動を基軸に、子どもたちの豊かな情操や文化芸術を愛する心を育てるとともに、同合唱団が本町を代表する青少年芸術文化団体としての基盤強化を図る。また、指導者育成をはじめ、大勢の関係者に合唱活動のみならず総合舞台的な領域を見据えた知識・技術の習得、学校教育分野との連携による中・高校生の活動への積極的な参加をはかるための事業を行う。

5-3 その他の事業

5-3-1 地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）

(中略)

(5) 農作業雇用希望者に対する訓練の実施

アスパラガス等の園芸作物の生産に係る「除草」や「収穫」「選別」作業の技術講習会を実施し、雇用希望者の資質の向上を図る。

・実習苗における技術講習会の実施。

5-3-2 「文化芸術による創造のまち」支援事業 (C0801)

(1) 事業の実施主体

最上町「文化芸術による創造のまち」支援事業実行委員会

(2) 実施年度

平成 18 年度

(3) 具体的な事業

最上町総合舞台人材育成セミナー

5-3-2 その他、本町が独自に取り組む事業

- (1) アスパラガスを主体にした園芸作物の生産増大にむけた取り組み
(中略)
- (2) 企業誘致及び新分野進出にむけた事業
(中略)
- (3) 地産地消(商)の核となる卸センター機能を有したシステム研修会の実施
(中略)
- (4) 潜在的労働力の発掘・活用にむけた取り組み
(中略)

一般町民並びに芸術文化団体会員、中・高校生のなかから、今後、中央公民館を拠点に芸術文化活動をサポートする人材(ボランティア)を育成する。

もがみ町青少年少女合唱団育成事業

青少年少女合唱団における音楽技術の向上をはかるために、プロの音楽家による直接指導を受けながら、その成果を発表する場を提供する。

最上町芸術文化のまちづくりシンポジウムの開催

本町内を中心に音楽活動を行っている団体及び個人を対象として、青少年を主体にした芸術文化による創造のまちづくりの意義や可能性と具体的手法を探る。

5-3-3 その他、本町が独自に取り組む事業

(1)地域固有のさまざまな資源を活用する産業の振興

___アスパラガスを主体にした園芸作物の生産増大にむけた取り組み

(中略)

___ 企業誘致及び新分野進出にむけた事業

(中略)

___ 地産地消(商)の核となる卸センター機能を有したシステム研修会の実施

(中略)

(2)精神面における本物志向のまちづくり

ふれあい音楽祭 2006 の開催

a. 事業の実施主体

最上町教育委員会 もがみ町青少年少女合唱団 最上町芸術文化団体連絡協議会

b. 事業の実施時期

平成 18 年 11 月

c. 事業の具体的内容

平成 18 年度における青少年を主体にした音楽による文化創造のまちづくりの集大成とするために、もがみ町青少年少女合唱団や最上中学校吹奏楽部の演奏をはじめ、プロの音楽による演奏、さらに芸術文化サポーターによる舞台運営を主たる内容にした音楽祭を開催する。

芸術文化ボランティア登録事業の実施

a. 事業の実施主体

最上町教育委員会 最上町芸術文化団体連絡協議会

b. 事業の実施時期

平成 18 年度から 20 年度において適時実施

(中略)

7. 地域再生計画の目標の達成に係る評価に関する事項

本計画の目標は、計画期間である3か年の時間軸において、農業生産者をはじめ経済団体と行政(町・県)の協働による総合型産業システムの確立と、これに伴う雇用機会の増大化を図るために不可欠な『専門性を有する人材の育成』である。

また、計画全体の取り組みを評価する手法については、国の指定統計(平成21年事業所統計調査、2010年世界農林業センサス、平成20年工業統計調査)の数値結果を検証するほか、第三者を交えた事業利用者を対象にした事後調査を実施する。

c. 事業の具体的内容

最上町総合舞台人材育成セミナーの修了生等を対象に、芸術文化活動をサポートするボランティアを募集・登録し、一方で、サポートを必要とする芸術文化団体等の収集を行い、両者を結びつける事業を実施する。

最上町総合芸術文化祭の実施

a. 事業の実施主体

最上町芸術文化団体連絡協議会

b. 事業の実施時期

毎年10月～11月

c. 事業の具体的内容

「ぬくもりに満ちたふるさとづくりを目指して」をテーマに、最上町芸術文化団体連絡協議会に加盟する41団体及び一般町民の芸術文化の発表の場、また鑑賞の場として実施する。

・発表部門(展示発表部門、舞台発表部門、茶道部門、一般公募部門)

・総合プログラムの発行

(開幕中のプログラムを記載した冊子を発行)

(中略)

7. 地域再生計画の目標の達成に係る評価に関する事項

計画全体の取り組みを評価する手法として、国の指定統計(平成21年事業所統計調査、2010年世界農林業センサス、平成20年工業統計調査)の数値結果を検証するほか、第三者を交えた事業利用者を対象にした事後調査を実施する。また、文化芸術に関するまちづくりについては、(目標2)に掲げる最上町総合舞台サポート隊登録数及び最上町文化芸術のまちづくりシンポジウム入場者数を評価の基準とする。